

資料番号 17

令和7年4月18日  
課名 商工労働局県内投資促進課  
担当者 課長 栗栖  
内線 3375

## 呉地区における多機能な複合防衛拠点の整備に係る第3回四者協議の 議事概要について

- 日時：令和7年3月31日（月）9時56分～10時43分
- 場所：広島合同庁舎4号館 共用第9号会議室
- 参加者：広島県：副知事 玉井 優子  
：商工労働局 海外展開・投資促進担当部長 市川 和雄  
呉市：副市長 阿原 亨  
産業部長 奥村 和広  
日本製鉄㈱：本社総務部部長 有田 進之介  
：瀬戸内製鉄所総務部長 近藤 尚紀  
防衛省：地方協力局総務課長 村井 勝  
：整備計画局防衛計画課 前任部員 下 幸蔵  
：中国四国防衛局企画部長 有賀 元宏

## 4 議事概要

### (1) 防衛省

- ・ 呉地区に多機能な複合防衛拠点を整備する目的、呉地区の地理的位置づけ及び多機能な複合防衛拠点における3つの機能について説明及びこれまでの経緯等について説明した上で、ゾーニングを説明。
- ・ ゾーニングについては、「多機能な複合防衛拠点」の3つの機能を効果的に発揮できるよう、各機能の関連性や親和性を考慮し配置したこと、各ゾーニングの内容について説明。
- ・ 今後、このゾーニングを基に、施設整備等に関する基本検討などを進め、しかるべきタイミングで土地の一括購入を行いたい旨説明。

### (2) 広島県

- ・ ゾーニング案について、予定されている装備庁施設を除いた民間誘致エリアの実質的な敷地面積や、将来構想エリアの詳細、火薬庫設置による民間企業誘致エリア、地域住民への影響などについて確認。
- ・ 広島県と呉市による日鉄跡地利活用にかかる検討業務で提案のあった候補のうち、防衛産業に関連する造船やS A F製造、ドローン等の自動運転開発実証などを民間企業誘致の対象として検討するとともに、研究関連施設については、A Iやサイバーセキュリティの研究開発拠点を検討するよう要望。
- ・ 前回よりも詳細にはなったが、雇用を含めて、地域への影響や将来性が不明であることから、引き続き、地域にしっかりと目を向けた詳細かつ丁寧な説明を改めて要望。

### (3) 呉市

- ・ ゾーニングに関し、7月3日付け防衛大臣宛て要望書の項目について、防衛省に検討状況を確認。
- ・ 土壌汚染対策等については、法令に則って適切に対応する旨説明。また、日鉄跡地に関しては、日鉄が土壌汚染状況等について引き続き真摯な説明をするよう要請。なお、日鉄跡地について、令和7年3月28日に土壌汚染対策法第14条に基づく区域指定の申請書を受理。
- ・ この度、防衛省から示されたゾーニングは、令和6年7月に提出した要望書の内容をしっかりと考慮いただいた上で策定されたものと認識。

### (4) 日本製鉄株

- ・ 防衛省からご説明のあった「多機能な複合防衛拠点の整備」は、早期に敷地全体を活用する方針のもと作成された具体的な計画と受け止めており、引き続き本件について検討を進めてまいりたい。
- ・ 今回、防衛省からゾーニングが提示されたことから、当社としても、本件の成案化に向け、経済性を担保した上での諸条件の具体化を図るべく、防衛省との協議を進めてまいりたい。  
※これに対し、防衛省から、日鉄だけでなく、防衛にとっても経済合理性が確保されることが重要である旨、指摘した。
- ・ 高炉地区設備等の解体工事は、法令を遵守しながら安全かつ周辺環境への影響に最大限の注意を払って進めている。跡地活用に向けて必要な行政手続き等については、呉市の関係部局への相談を開始している。広島県及び呉市におかれては引き続きご指導・ご協力をお願いしたい。

以上

## 5 添付資料

- ・ 呉地区における多機能な複合防衛拠点の整備について